

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	国語 I
教科書	「精選現代文B」「精選古典B」(三省堂)
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)、国語辞書
学習上の留意点	
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストは「小テスト」の一つとして評価する。 ・読書一行感想カードと読書感想文は「レポート」として評価する。 ・提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること ・古文の授業では、図書館にある教科図書を活用する。各自で閲覧し、学習しておくこと。 ・授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 ・国語Ⅱ(3単位)の最終成績は、国語Ⅱ(現代文・古文)と国語Ⅱ(漢文)を2:1として評価する。 	
担当教員からのメッセージ	
<p>国語Ⅰに引き続き、学力の要となる国語の力をしっかり鍛えます。人は、自分を取り巻く世界を「ことば」で理解します。「ことば」を学ぶということは、他者と関わる方法を知ることです。そして、他者と関わるということは、自分が生きる世界を広げていくことです。何事も最初から決めつけたりせずに、「ことば」で考えながら様々な角度で物事を見てみましょう。あなたの世界は必ず、広がっていきます。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスを読み、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解する。	予習と復習：シラバスを熟読する。
2	随想 茂木健一郎「最初のペンギン」	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・表現に即して文脈を正確に読み取り、筆者の経験について理解できる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 ・表現上の工夫や面白さを具体的に指摘することができる。 	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
3			
4			
5	「小野篁、広才のこと」（『宇治拾遺物語』）	<ul style="list-style-type: none"> ・説話文学の基礎知識を習得する。 ・取り上げた場面を読解し、味わうことができる。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 	予習：ノートを作っておく。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
6			
7			
8	変体仮名を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名文字の成り立ちと平安文学の発達について理解できる。 ・変体仮名の読み方を習得できる。 	復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
9	前期中間試験		
10	試験返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 	
11	評論（一） 岩井克人「未来世代への責任」	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
12			
13	『更級日記』	<ul style="list-style-type: none"> ・日記文学の基礎知識を習得する。 ・取り上げた場面を読解し、味わうことができる。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 	復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
14			
前期末試験			
15	試験返却・解答解説 読書感想文の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 ・読書感想文の書き方を学習する。 	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	小説(二) 村上春樹「レキシントンの幽霊」	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開を理解し、作品の構成を把握している。 ・登場人物の心情を把握し、描写を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。 ・小説を自分なりに鑑賞することができる。 	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
17			
18			
19			
20	詩歌 宮沢賢治「永訣の朝」	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の音読を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。 ・詩を自分なりに鑑賞することができる。 	予習：音読する。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
21	近現代の文学史	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の主要な文学作品の概要と文学史の流れを理解することができる。 	予習と復習：学習プリントのチェック事項を理解する。
22	和歌	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の基礎知識を習得する。 ・勅撰集の和歌を読み、鑑賞できる。 ・基礎的な古文文法や古語を理解できる。 	復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
23	後期中間試験		
24	試験返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 	
25	評論(二) 若林幹夫「メディアと歴史」	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 	予習：ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
26			
27			
28	『源氏物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』の基礎知識を習得する。 ・取り上げた場面を読解し、味わうことができる。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 	復習：学習プリントを読み直し、理解しておく。
29			
学年末試験			
30	試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 ・一年間のまとめができる。 	
総授業時間数			60 時間

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	国語 I
教科書	「精選古典B」(三省堂)
補助教材等	「カラー版新国語便覧」(第一学習社)
学習上の留意点	
<p>○漢文訓読の基礎をしっかりと学習する。</p> <p>○漢文の読解を中心とした学習を行いながら、漢文をテキストにしてコミュニケーションスキルを磨く授業も行う。</p> <p>○具体的には、今後さまざまな場面で必要となる図解資料の作成方法や、プレゼンテーションスキルである。</p> <p>○授業では、ほぼ毎時間プリントを配布する。そのため、プリントを整理するファイルを準備しておくこと。</p> <p>○国語 I (3単位)の最終成績は、国語 I (現代文・古文)と国語 I (漢文)を2:1として評価する。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>○漢文に対するイメージには、中国の古い文章であり、漢字が並んだ意味のよく分からないものがある。しかし、漢文は、日本の文化や思想、日本人の精神を形成するのに重要な役割を果たしており、そのことを前提として授業を行う。</p> <p>○授業の中に話し合い、スピーチ、図解、プレゼンテーションなどの活動をどんどん取り入れる。身体全体で中国古典の世界を体験してもらおう。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	○シラバスを用い、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解する。 ○授業の方法、配付資料の整理の仕方を理解する。	シラバスを確認する。 配布資料を確認する。
2	漢文の読解と図解①	○漢文訓読の方法に従って、漢詩や漢文を訓読できる。	○予習 ・次回授業で扱う漢詩・漢文を読んでおく。 ・書き下し文を自分でプリントやノート等に書いておく。 ○復習 ・書き下し文、口語訳を確認する。 ・授業内容に関連したレポート課題に取り組む。 ・×切に間に合うように必ず提出する。 ・返却された自分のレポートや、優れたレポートのコピーを見ることで、次のレポートの制作に活かす。
3	漢文の読解と図解②	○教科書掲載の漢詩・漢文を読解し、鑑賞できる。	
4	漢文の読解と図解③	○取り上げた作品や作者に関する文学史的な事項について理解できる。	
5	漢文の読解と図解④	○内容を理解するとともに、現代の我々の問題として捉えることができる。	
6	漢文の読解と図解⑤	○基本的な図解資料を作成することができる。	
7	漢文の読解と図解⑥	○図解の技法を用いて漢詩や漢文を要約し、習得した図解の技法で身の回りの様々な事象を図解できる。	
8	漢文の読解と図解⑦	○授業では、以下の漢詩・漢文を扱う予定である。 ①小説：季札挂劍、漱石枕流、梁上君子 病人膏肓、不顧後患、紀昌貫虱 ②漢詩：鹿柴、宿建德江、春夜洛城聞笛 別董大、涼州詞、送友人、月夜、遊山西村 ③思想：論語、孟子、荀子、老子、莊子	
9	後期中間試験		
10	答案返却・解説 漢文とプレゼンテーション①	○教科書掲載の漢詩・漢文を読解できる。	○予習 ・次回授業で扱う漢詩・漢文を読んでおく。 ・書き下し文を自分でプリントやノート等に書いておく。 ○復習 ・書き下し文、口語訳を確認する。 ・授業内容に関連したレポート課題に取り組む。 ・×切に間に合うように必ず提出する。 ・返却された自分のレポートや、優れたレポートのコピーを見ることで、次のレポートの制作に活かす。
11	答案返却・解説 漢文とプレゼンテーション②	○取り上げた作品や作者に関する文学史的な事項について理解できる。	
12	答案返却・解説 漢文とプレゼンテーション③	○内容を理解するとともに、現代の我々の問題として捉えることができる。	
13	答案返却・解説 漢文とプレゼンテーション④	○授業では、「史記」（鴻門之会）を扱う予定である。	
14	答案返却・解説 漢文とプレゼンテーション⑤	○授業の後半では、プレゼンテーションを行う。 ○そのために、漢文を自分で調べ、調べたことを図解資料にまとめることができるようになる。	
	学年末試験		
15	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、訓読漢文の理解をさらに深めることができる。	
総 授 業 時 間 数			30 時間